

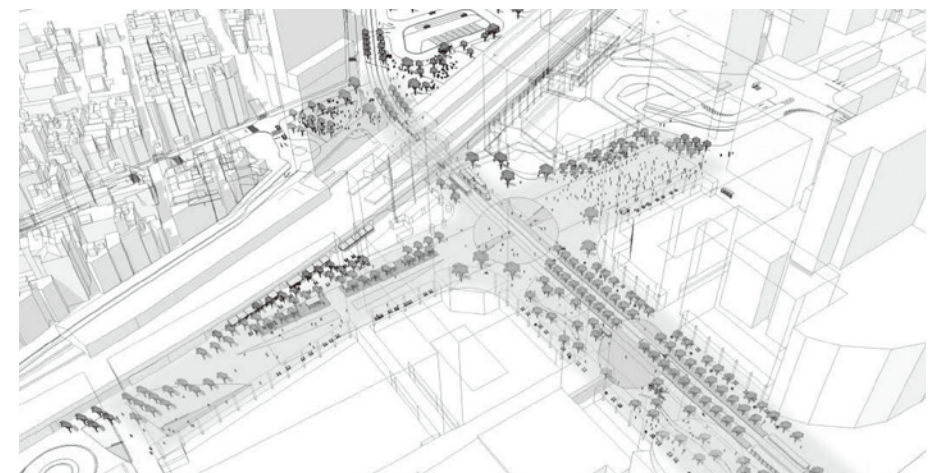
# みなと元町 TOWN NEWS



No. 302

発行:みなと元町タウン協議会 住所:〒650-0022 神戸市中央区元町通3-13-1協和会館内 発行人:奈良山喬一 編集人:岩田照彦 電話・FAX:078-391-0831

## 三宮のクロススクエアはこれからの元町にどう影響するか ゼンクリエイト 根津 昌彦



平成29年7月27日に開催された都心三宮再整備推進会議において、三宮再整備計画である、「えき〜まち空間」基本計画の素案が発表された。この計画は、「えき」(6つの駅とバス乗降場)と「まち」をつなぐ空間を「えき〜まち空間」と名付け、誰にとっても使いやすい、神戸の玄関口にふさわしい空間として整備するという計画であり、なかでも、「えき〜まち空間」の核として位置づけられているのが、三宮交差点を中心にフラワーロードと中央幹線の一部において、人と公共交通を優先する「三宮クロススクエア」という空間である。

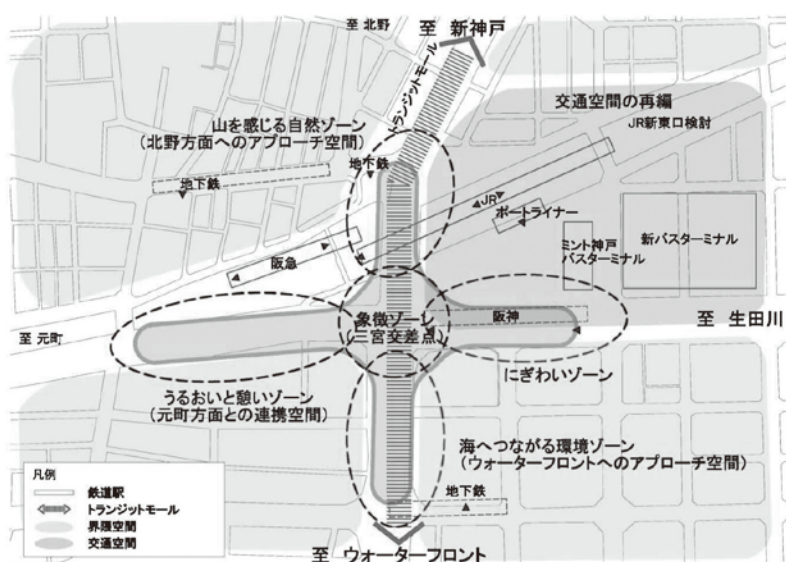
この空間の最大の魅力であり課題なのが、「車を止める」ということ。つまり一般車両が進入できないようにすることである。フラワーロードの南北相互通行、中央幹線の東西相互通行がUターン交通や行き止まり右左折交通に代わるため、三宮交差点の半径1〜1.5Km圏の自動車交通網への影

響が大きいことは容易に想像される。元町商店街に対して、最も大きな影響があると考えられるのが、鯉川筋の自動車交通及び歩行者空間である。

3年前の2014年11月に2日間にわたり、鯉川筋の北行1車線を減らして、自動車交通への影響と、歩行者が多い道路における自転車利用のあり方を検討するという社会実験を実施した。結果として、「元町駅東交差点での右左折車両対策や観光バス・荷捌き等の路上駐停車対策等により、歩行者空間を広げることができ

可能性を確認できた。」といったことが考察されたものの、その後この話は次の展開が見えないままとなっている。

3年後だと言われているが、一部供用開始は、10年以内に実現する目標で進む想定である。「えき〜まち空間」基本計画の素案は、「空間構成の考え方」「交通計画の考え方」「景観形成の考え方」という3つの柱で構成されているが、いまみなと元町タウン協議会が取り組んでいる地区計画の策定にあつては、「空間構成の考え方」「景観形成の考え方」が直接的な用途ではあるものの、敷地の前の道路の性格が異なると当然ながら、空間構成も景観形成も大きな影響が出ることは明らかである。タウン協エリアでの地区計画を検討していくにあたっては、こうした周辺の開発動向、まちづくりの動向も視野に入れて、このまちがどうあるべきかを議論していく必要がある。



「えき〜まち空間」の構成図

### 三町・夢街道

書店の話(4)  
鳩居堂(3)

岩田照彦

兵庫県令・神田孝平は、国から県にゆだねられた小学校教科書の出版を、日本図書(株)を通じて取り扱いに経験のある鳩居堂を指名した。鳩居堂のほか、取り扱いの実績をもつ業者はいなかっただろう。

鳩居堂が指名を受けて製作した教科書は文部省とその関係者が編集したもののだが、教科書に関係する問題集や参考書類は鳩居堂が独自に出版した。教科書を扱うことは、周辺関係書籍の発刊にも有利な立場にあつたろう。明治二七(1894)年十月、小野辰太郎編集、熊谷幸介発行の「兵庫県地誌歴史孝」巻末に、発行所を熊谷久栄堂として、明治二七年以前の教科書関係出版物を網羅しているで紹介する。

- 女子小学読本 岡澤徹著・全七冊
- 中等科読本 鳥山啓編・全七冊
- 小学読本博物学階梯 能瀬栄著
- 尋常小学算術書 植木潜蔵・全八冊
- 小学珠算教授書 三橋得三編・全四冊
- 新撰小学珠算問題 藤田義造編全八冊

- 小学校用書 珠算集題・井口友之助編
- 小学暗算新書 山脇賢二郎著・全三冊
- 小学筆算題林 中条澄清著・全三冊
- 近世幾何学 レイノルズ著 中条澄清訳
- 幾何学階梯 田辺善則編・全三冊
- 代数学教授書 中条澄清著・全三冊
- 代数学教授書 中条澄清著・全四冊
- 小学習字帳 藤井文蔵編纂・三宅盤鴻揮毫全十六冊
- 新撰習字帳 塚脇門蔵編纂・名和菱江揮毫全九冊
- 新撰小学習字帳 藤田義蔵編・村田海石書
- 高等科習字本 室積實因編・村田海石書
- 日本地理誌 西村義民編
- 地理誌総論 西村義民編
- 万国地理誌 野々村政也編
- 但馬地誌略 伊村則功編
- 兵庫県管内地誌 鹿田熊八・寺井元雄・入江彦太郎同輯
- 但馬地誌略 伊村則功編
- 兵庫県市町村名称区域
- 兵庫県管内全図 石版摺 折本(總)
- クロス美製(学校用堅固軸仕立)
- 兵庫県管内地図
- 兵庫県土木課編纂
- 兵庫県市町村名称区域及び役所役場位置
- 兵庫県輪郭地図(小学生書入用練習地図)
- 兵庫県地誌歴史考(つづく)

### 栄町通クリーン作戦

栄町通まちづくり委員会は9月8日(金)10時から10時30分まで、栄町通を中心に、ゴミ拾いと不法ビラ撤去、自転車・バイクなどへの不法駐輪警告チラシ取り付け作業など、栄町通クリーン大作戦を実施した。参加者は、(元栄海三丁目協会)奈良山喬一、(神戸市住宅都市局)坂田竜一、(広島銀行)宮浦晋、(㈱トマト銀行)ト部知子、(兵庫県信用組合)市橋宏起・杉浦早紀、(パナホーム(株))堀裕臣、(三鈴マシナリー(株))稲岡千硯、(神明倉庫)小林孝洋、(イーエスプランニング)新宅彩潔子、(佐野運輸(株))志賀俊之・北島幸宏、(新光明館)中川俊・藤田直之・西村友博・篠原博明・大森貴美子、(佐田野不動産(株))佐田野宏之以上18名のみなさんでした。毎月第2金曜日午前10時、栄町通6丁目佐田野不動産前集合の上、実施しています。お気軽にご参加ください。



- ◇こへまちづくり会館ギャラリー(無料) TEL361-4523
  - 10月5日(木)~10月10日(火) 第35回帆船模型作品展(模型)
  - 10月13日(金)~10月17日(火) 第10回みなと銀行こゆう会友友会部会会員作品展(油彩・水彩・写真・書道・その他)
  - 10月19日(木)~10月24日(火) 2017神戸写真遊会写真展(写真)
  - 10月26日(木)~10月31日(火) 第26回章の会展(油彩・水彩・ミックストメディア)
- ◇元町映画館(有料) TEL366-2636
  - 10月2日(月)~10月6日(金) 劇場内防音工事のため休館
  - 10月7日(土)~10月13日(金) 『MOTHER FUCKER』・『さよならも出来ない』
  - 10月7日(土)~10月20日(金) 『望郷』・『ワン・デイ 悲しみが消えるまで』
  - 10月7日(土)~10月20日(金) 『ロスト・イン・パリ』・『逆行』
  - 10月14日(土)~10月27日(金) 『ハネムーンキラース』・『地獄愛』
  - 10月21日(土)~10月27日(金) 『抗い-記録作家 林えいだい-』
  - 10月21日(土)~11月3日(金) 『ドゥミとヴァルダ、幸福についての5つの物語』

### 編集後記

二〇一七年七月七日、栄町通三丁目に地元の声を集めて地下鉄海岸線「みなと元町駅」が開業した。その西口広場壁面の一角に、ギャラリーがある。交通局からの提言を受け、協議会でギャラリーを活用する方法を元町商店街とともに検討、商店街にある五振興組合の事業部が毎月担当することになり、実務を同事業部が請け負う形でスタートした。ギャラリー使用のネタ切れで、元町の芸術家たち展常連作家のひとり運用をお願いしてきたが、このほど「元町の芸術家たち展」の利用が決まり、元町商店街連合会がひきうけることになった。元町商店街のアートに接する地下駅前常設展示場の活躍が楽しみだ。

### 10月情報

- ◇神戸元町商店街連合会 TEL381-0831
  - 第20回神戸元町ミュージックウィーク
  - ストリートコンサート 10月7日(土)8日(日)12時~
  - もとまちウィンフェスティバルin3 元町三丁目商店街
  - 10月27日(金)17時~21時
  - 28日(土)16時~21時
- ◇元町1番街商店街振興組合 TEL331-7850
  - 元町占い市 10月11日(水)12時~17時
  - 元町1番街水曜市 10月18日(水)10時~19時
- ◇神戸街角サロン TEL090-3973-1763(木村)
  - 第8回うさぎ寄席 (有)ケイホワイト1階
  - 10月22日(日)開演14時(お茶・お菓子代¥500円)
  - 隣乃 玄関・さら亭 文月・大亭 都若・若鏡亭 夢輔
- ◇風月堂ホール(有料) TEL321-5555
  - もとまち寄席「恋雑亭」
  - 10月10日(火)
  - 桂 そうば 桂三ノ助 笑福亭 銀瓶
  - 桂 小春團治 笑福亭 伯枝 桂 南光
  - 前売券9月11日より風月堂で発売

## 海という名の本屋が消えた (47)

平野義昌

### 池長孟 その2

池長孟には成人名「国康」という名があった。《……この孟も国康も、元町の赤壁(後に写真材料店)の易学をやっていた老人がつけてくれたものだと聞かされた。》<sup>註1</sup>

「赤壁」とは元町通4丁目「和漢西洋薬種所 赤壁高瀨(現在「赤壁商店」)のこと。池長家と親しい交際があったのだろう。

孟は兵庫県立神戸第一中学校(旧制神戸一中、現在県立神戸高等学校)、第三高等学校(旧制三高、現在京都大学)で学び、水泳、剣道に打ち込み、文学に親しんだ。

1914(大正3)年、京都帝国大学法律科に入学する。同年4月、養父・通が心臓発作で急逝し、孟は学生ながら当主になる。家業は養母と支配人が補佐した。

16(大正5)年12月、「東京朝日新聞」「大阪朝日新聞」が植物学者・牧野富太郎(1862～1957)の困窮を報道した。借金3万円(現在なら約1億円)、牧野は植物標本10万点を手放す覚悟だが、救ってくれる人がいるなら散逸させず標本館を設立してほしいと語っている。標本は海外に流出する可能性があった。

牧野は高知県出身、学校教育を受けず、ほぼ独学で植物学を学び、東京帝国大学研究室助手から講師になった。生涯に命名した植物は1600種、後に日本植物分類学の父と評価されるが、当時は「不遇の植物学者」(「東京朝日」記事)だった。日本の植物学は古来の本草学から近代科学に移行する過程で、研究には古今東西の文献資料が不可欠。借金してでも高価な本を買わなければならなかった。造り酒屋の長男で実家の援助があったが、それも使い果たした。家賃を溜めては住まいを迫られ、大家族で生活費の借金や娘の結婚費用も書籍・資料購入費にしてしまう。

記事掲載後、援助の申し出が2件あった。大阪の実業家・久原房之助(日立製作所、ジャンエナジーなど多く大企業の基盤となった財閥創始者)と京都帝大生・池長孟。孟は「大阪朝日」社会部長・長谷川如是閑を訪問し、直接意思を伝えた。牧野は池長家の援助を受けることにする。美談である。

池長家の提案は、牧野の標本を3万円で買い取って牧野に再寄贈する、牧野家に毎月生活補助をする、という内容。牧野が標本寄贈を固辞したため、孟は標本館として植物研究所を設立する。建物は池長家所有の兵庫尋常高等小学校の旧講堂。同校新築に伴い通と同窓会が引き取り、会下山公園に移築した。その年、大正元年にちなんで「正元館」と命名され、通が館長に就任。通の死後、同窓会は彼の功績に感謝して池長家に譲渡した。

孟は、研究所で標本を整理して公開し、植物研究の拠点にしようと考えた。図書室を設け、牧野の蔵書も買い取った。研究者が開設した岐阜の昆虫研究所や京都の貝類博物館の視察、備品・古書購入にも同行している。

牧野が借金から逃れ、学問に専念し、植物研究

所を開くはずだったが、標本整理は進まない。牧野主宰の研究雑誌が資金不足で、孟はまた援助をした。そんな折、牧野が援助金で遊興していたことが発覚。孟との間に険悪な空気が生じてくる。

18(大正7)年10月31日、標本未整理のまま(池長植物研究所)開館。開所式は3日間にわたり、招待客は総勢160名を超えた。

《……会場の設営から、料理の内容、そして記念品の一つとして配った絵葉書セットのデザインに至るまで、すべて池長自身が自分の好みに従って采配をふるった。こうした凝り性は、まさに池長らしい特徴であり、その念の入れ方はいかにも趣味人という印象が強い。》<sup>註2</sup>

同年11月、孟は荒木正枝と結婚、12月志願兵として入営、20(大正9)年除隊。

《……牧野先生は植物学においては偉い人であるが、しめくりがつかない。標本も新聞に挟んだままで、ちっとも整理が出来ない。(中略、研究者たちが来て質問・植物談義、採集。標本は人任せにしない)私も着手する前からこんな先生の欠陥はよく知っていたので、それを押しきってやるつもりであったが、その肝腎の私が兵隊にとられてしまったので、気がぬけてしまった。さらに私が洋行するに及んで一層進行がはばまれた。》<sup>註1</sup>

孟は標本類を京都帝大に寄贈する案を出す。牧野は姫路連隊にいた孟に面会して反対意見を伝えた。植物学者・白岩卓巳は孟の入営や旅行を、「一種の逃避行動」と見る。<sup>註3</sup>

孟は牧野の作業が進まないことに業を煮やし、長谷川如是閑に催促してくれるよう依頼している。養母も池長家の支援事業が進展しない不満を孟にぶつけていた。長谷川は牧野の標本作成作業を実際に見て、その丁寧な仕事を、「立派な芸術品」と評価。催促はできないと、孟親子に伝え了解を求めている。<sup>註4</sup>

《あまりに学究肌でその美点である無頓着さと一種の無責任さをもつ牧野、一方で結果を急ぐ若い館主・池長の擦れ違いです。》<sup>註3</sup>

21(大正10)年、孟は神戸市学務委員就任、22年欧米旅行、23年育英商業学校校長兼校主就任。公私とも多忙が続いた。牧野は定期的に神戸に来て、採集や講演、研究指導を行っている。

25(大正14)年、孟の妻・正枝が亡くなる。孟は紅塵荘建設、再婚・離婚、仕事は多忙、美術品蒐集も始めた。28(昭和3)年には牧野の妻が病死する。牧野標本は相変わらず未整理のままである。池長家からの援助金は途切れ途切れになった。牧野は池長家から離れる決意をし、新しい支援者を探した。神戸・関西での講演会、採集などは続けていたが、宿泊は池長家ではなく、新しい支援者でもある栄町通の西村旅館になった。

40(昭和15)年、ふたりは節目を迎える。4月、孟は池長美術館

を開館し、9月には牧野が『牧野日本植物図鑑』(北隆館)を出版。41年6月、牧野は満州でサクラを調査し、標本5千点を持ち帰る。

《池長は待ち構えていたように、池長植物研究所内の標本、図書全部を牧野に返還することを発表します。(中略)池長の美術館完成による自信とプライドが、最後までパトロンとしての立派な行動をとらせたのでしょう。一時の憎悪の思いとは別に、池長の牧野に対する尊敬の念(牧野にとっても)が、貴重な日本の植物標本、書物を牧野のもとに返させたのです。》<sup>註3</sup>

牧野がこのときの気持ちを揮毫している。「氣になつた我子もどしり歡喜哉」<sup>註1</sup>

標本は東京の華道家が寄贈した標本館に所蔵された。池長植物研究所建物は海軍の軍刀を製作する菊水鍛刀会に寄付され、その後海軍省の管理となった。

池長植物研究所は実現しなかった訳だが、では、孟の援助は無駄だったのか?

牧野の研究を続けられ、学者として大成した。また、貴重な標本と蔵書がまとまって残った。孟が植物研究所で25年間保管したことは大きな意味がある。昨今、学者や作家が亡くなると、その蔵書や研究資料を保存・活用されることなく、古書市場などで散逸してしまう。公的機関は寄贈を受けても維持管理する経済的余裕がない。

孟には、頑固な学者との交際は後の美術蒐集家との交渉に役立つだろう。研究所の経験は美術館創設・運営につながっている。

牧野支援は正枝との結婚にも影響した。荒木家に縁談反対者が多く、破談になりかけていた。正枝の兄が孟の学友たちを訪ね、人となりや調子を調べた。性格、人望、暮らしぶりなど大いに好意を持った。何よりも、牧野を援助した学生が孟であると知り、両親・親戚を説き伏せた。

《この不運な世界的植物学者と大学生につながる美しい物語りを聞くに及び、私は当時少なからず感激に打たれた。これからの日本は、こういう人物を最も要求して居る、富豪として、真に金の使い方を間違えない人物であると衷心より未知の大学生池長に対し、ひそかに敬慕措く能わざるものがあつた。》<sup>註5</sup>

このような因縁がありながら、人の世は無情である。

註1 池長孟「自筆備忘録」(『南蛮堂コレクションと池長孟』展覧会カタログ、神戸市立博物館、2003年、所収)  
註2 高見澤たか子『金箔の港』筑摩書房 1989年  
註3 白岩卓巳『牧野富太郎と神戸』神戸新聞総合出版センター 2008年  
註4 長谷川如是閑『閑』(牧野富太郎『植物学九十年』宝文館、1956年、所収)  
註5 荒木重義「孟君を憶う」(『池長孟追憶誌』池長孟君を偲ぶ会、1955年、所収)



会下山公園に残る池長植物研究所跡。

## 出来事ファイル (No.17-10)

### ■第8代神戸ウエディングクイーン決定

8月4日(金)、結婚式場など、神戸のプライダル関連企業で組織する「神戸ウエディング会議」は、新しい「神戸ウエディングクイーン」3人を選出する最終審査会をエスタシオン・デ・神戸の1階ホールで開いた。奈良教育大学生の明頓百華、大阪芸術大学生の羽田優里奈、大阪歯科大学の寺浦帆南の3名を新しいクイーンに選出、1年間活動する。



左から明頓・畑田・寺浦さん

### ■べっぴんグループ 珈琲散策マップ作成

兵庫県が、地域活性化のためボランティアの人材で組織する神戸地域ビジョン委員会のメンバー「おしゃれ港・元町べっぴんグループ」が、8月末「西元町ぶらり珈琲散策マップ」を完成、配布した。元町商店街の4丁目から6丁目まで、喫茶店の座席数や主なメニュー、営業時間など、散策時に欠かせない情報をとり入れ各店別に紹介している。



### ■協議会作成『防災計画』が神戸市の規定に

地域コミュニティによる防災活動の推進をはかるため、神戸市防災会議は地域の団体が地域居住者等と合意の上作成した避難計画を神戸市地域防災計画として市防災施策との連携をきめた。2013年弊協議会作成の東南海・南海地震津波防災計画を市の防災施策対象規定とする提言をうけ、8月の役員会で承認、市の規定として運用されることになったもの。



2013年保存版 東南海・南海地震津波防災計画 津波防災安全マップ

### ■神戸市 貸切観光バス乗降分離実験計画さまる

鯉川筋に面した南京町への入り口長安門付近で駐停車する観光バスが多く、交通障害になっていることから、神戸市は、貸切観光バスを対象に乗降分離の実証実験を11月24日(金)～27日(月)まで行うことをきめた。南京町入り口に近い栄町通に降車のための駐車場を2か所、乗車場所1か所を設けて実験を行う。鯉川筋は、駐停車対象外道路。



実験で乗車場に予定されているあたりの栄町通

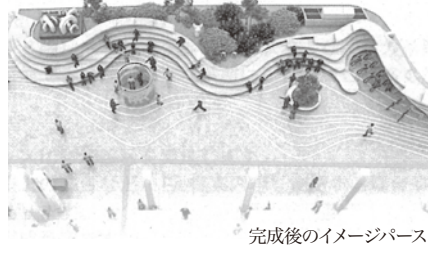
### ■こども救急隊員15名 堂々の先導役

9月9日(土)は救急の日、元町商店街では中央救急フェアが開かれた。神戸市中央消防署長から1日救急隊員に任命されたこども小学校、山の手小学校のこども救急隊員15名も揃いの制服姿で参加、6丁目入り口で任命式を終え消防音楽隊とともに1番街に向かって行進、途中、4丁目での小休止を挟み、行き交う人たちに救急の日をPRした。



### ■元町駅東口前広場改装案さまる

JR元町駅東口広場は、花壇や青空喫煙所、コペリン駐輪場などに利用されてきた。神戸市は、同広場をウォーターフロントへの玄関口と位置づけ、「まちなか拠点」として待ち合わせや休息などが可能な空間整備を行うため、整備イメージ案を募集していたが、このほど山本修ほか3名のグループによる最優秀賞を決定、来年3月の完成をめどに改装する。



完成後のイメージパース

### ■健康サロンすずらん若返り

百白会・グリーンロードの会・元栄海民生児童委員協議会とハーバーランドあしんすこやかセンターの協力で開く健康づくり体操教室「みなと元町健康サロンすずらん」は8月29日(火)10時から、11回目の脳活健康体操をまちづくり会館で実施した。男女合わせ31名が参加、さわやかな汗を流し、お互い今日の元気に感謝して会場を後にした。



### ■元町商店街イベント現代写真展

8月26日から9月3日まで、全丁にわたり、元町商店街イベント写真展、元町店主のスマイル写真展、写真コンテスト入選作品展、みなと元町探検まち歩き写真展をまとめて展示した。店を背景にした店主のこごやかな顔・かお・カオ。コンテストではダイナミックな元町界隈の表情があり、元町探検まち歩きではユニークな子供の視点や構図が印象的。



### ■神戸駅東グリーンチーム活動報告

9月6日(水)、神戸駅東グリーンチームは3チームに分かれてクリーン作戦を実施した。各通りからごみ類が取り除かれていくなか、D51を設置した小公園の中にはごみの散乱がめだつものの、D51を囲む柵にはばまれて立ち入ることができず、グリーンチームとしては心残りな一角。作業時間中だけ立ち入れないか管理者に協力を依頼することに。



奈良山会長らとエスタシオン・デ・神戸グループ